6年 国語

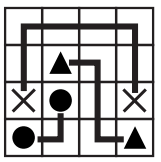
話し合いの進め方

6年　　組

名前

1 例のように、同じマークどうしを線でつなぎましょう。線はななめには引けません。マークの間の文字を①から順に読んで、二字熟語（じゅく）と二字熟語にして、漢字で□に書きましょう。

〈例〉



ルール

・すべてのマークを線が通る。
・線が交わったり同じマスにあってはいけない。

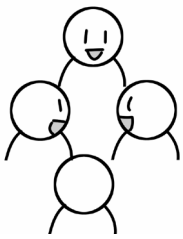


レン

い		さ		●①
	■		ん	
ば	つ		×	か
		▲	ほ	■②
ん	り			▲③
	●	う		×④

2 話し合いの進め方の例です。どういう順番に進めるとよいですか。（　）に①～⑤の順番を書きましょう。

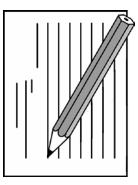
（　）出た意見を整理する。
（　）必要に応じて、さらに話し合い、最終的な結論（けつろん）を出す。
（　）一人ずつ意見を出し合う。
（　）目的と条件に合わせて話し合い、仮の結論を出す。
（　）たがいに質問し合い、疑問（ぎもん）点などを明らかにする。



---

3 話し言葉に当てはまる内容には①、書き言葉に当てはまる内容には②を㋐～㋕の（　）に書きましょう。

㋐ 音声で表す。（　　）
㋑ その場に相手がいる。（　　）
㋒ 共通語で書く。（　　）
㋓ すぐに消えてしまう。（　　）
㋔ 文字で表す。（　　）
㋕ 実物を示せる。（　　）
㋖ 後から何度も確かめられる。（　　）
㋗ 言いまちがいをすぐ直せる。（　　）
㋘ かなや漢字を使い理解しやすい。（　　）
㋙ 誤解（ごかい）を与えない語順や構成にする。（　　）





かりん

4 伝えにくいことを伝えるときについて、①～③の（　）に当てはまる言葉を□から選んで書きましょう。

① 相手に正確に（　　）、また冷静に（　　）もらえるように話す。
② （　　）や口調に注意して、（　　）を説明し、自分の（　　）を述べる。
③ （　　）の主張を聞き、話し合う。





表現・伝わり・考え・受け止めて・相手・事実

小学館「みんなの教育技術」（https://kyoiku.sho.jp/）　イラスト／嵩瀬ひろし